

診察室こぼれ話

今年は手足口病が流行しています。手足口病は、口の中や、手足などに水疱性の発疹が出る、ウイルスの感染によって起こる感染症です。子どもを中心に、主に夏に流行します。例年、報告数の90%前後を5歳以下の乳幼児が占めています。病気の原因となるウイルスは、主にコクサッキーウイルスA6、A16、エンテロウイルス71です。

感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染（便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染することです）が知られています。特に、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。それは子どもたち同士の生活距離が近く、濃厚な接触が生じやすい環境であることや、衛生観念がまだ発達していないことから、施設の中で手足口病の患者が発生した場合には、集団感染が起こりやすいからです。また、乳幼児では原因となるウイルスに感染した経験のない子の割合が高いため、感染したらほとんどが発病します。

感染してから3～5日後に、口の中、手のひら、足底や足背などに2～3mmの水疱性発疹が出ます。発熱は約3分の1にみられますが、あまり高くないことがほとんどであり、高熱が続

くことは通常はありません。ほとんどは数日間のうちに治る病気です。しかし、まれですが、髄膜炎、小脳失調症、脳炎などの中枢神経系の合併症が出る場合があります。

手足口病には有効なワクチンや発病を予防できる薬もありません。治った後でも、比較的長い期間、便などからウイルスが排泄されることがあります。また、感染しても発病はせず、ウイルスを排泄している場合があります。

手足口病は、発病しても、軽い症状だけで治ってしまうことがほとんどであるという意味で、感染してはいけない特別な病気ではありません。これまでほとんどの人が子どもの間にかかって、免疫をつけてきた感染症です。

手足口病には、インフルエンザなどのように学校や保育園の休み期間に明確な指標がなく、出席停止になることもありません。ただ、喉の痛みや発疹、発熱などの症状があるなかで保育園に行かせるのは現実的ではありません。厚生労働省の「保育所における感染症対策ガイドライン」によると、手足口病に感染したあとに保育園への登園を再開する目安は「発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること」と定められています。



（厚労省のホームページを参照）

あれこれ情報版

☀️ 6月から診療報酬の改定がありました。いつもとお会計の値段が変わっている方も多いです。ご不明な点などがありましたらお気軽にお声がけください。

☀️ 手足口病とともに、コロナウイルス感染症も流行り出しています。以前のように高熱が出なくても感染しているケースが散見されます。激しい咽頭痛を伴うこともよくあります。油断せず手洗いうがい、手指消毒などこまめに行いましょう。

☀️ 当院の夏季休業は以下の通りです。

8月8日(木)から8月15日(木)

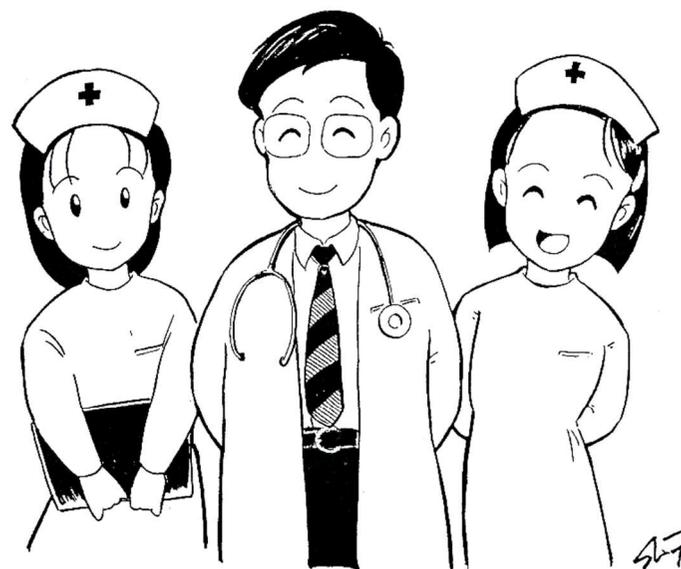
8月16日(金)より平常通り診療いたします。

☀️ 当院では受付・事務のパートを募集しています。週3～6日の中で午前診、午後診などご相談に応じます。詳しくは受付窓口へお声がけください。

☀️ マイナンバーカードに健康保険証の紐づけをされていない方は、当院のカードリーダーで紐づけできます。

すこやか通信

'24 7-8号 Vol.161



内科・循環器内科・小児科・皮膚科・泌尿器科

神戸市東灘区深江北町 2-8-26

☎078-431-0696

児島医院